



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヴェレナグラン横浜野毛山公園	階数	地上7F
建設地	横浜市西区東ヶ丘53番23 外	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 竣工	評価の実施日	2022年12月8日
敷地面積	1,525 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 DAN総合設計 土方 碩哉
建築面積	696 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月8日
延床面積	3,458 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 DAN総合設計 土方 碩哉

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
 ②建築物の取組み 81%  
 ③上記+②以外の 81%  
 ④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
 Q1 室内環境: 3  
 Q3 室外環境(敷地内): 3  
 LR1 エネルギー: 3  
 LR2 資源・マテリアル: 3  
 LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
元々の地盤に合わせ建物の接地面を検討し、なるべく周辺環境に影響の内容に配慮し計画した。	0
<b>Q1 室内環境</b> 専有部分について、T-2サッシを採用し、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 住宅性能評価における劣化対策等級3としている。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数37.6%とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。	<b>Q3 室外環境(敷地外)</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率81%とし、光害抑制に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱等性能等級4、BEI=0.92としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 特になし

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **ヴェレーナグラン横浜野毛山公園**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **8** %削減

一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2022年12月27日

誘導基準 (10%削減)

- エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)
- ①断熱等性能等級4
  - ③BEI=0.92

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

- 室内環境対策 (⑤外皮性能)
- ◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による
- 健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)
- ⑥F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用
- その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)
- ◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

- 耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)
- ⑰住宅性能評価における劣化対策等級3

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

- 室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2022年版v.1.0  
ヴェレーナグラン横浜野毛山公園

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>					<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音					<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50	-
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音					-	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>					<b>2.6</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.7</b>
2.1 室温制御					<b>3.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	1.00	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		3.0	0.63	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境	⑤外皮性能	3.0	0.38	4.0	1.00	-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		-	-	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-
<b>3 光・視環境</b>					<b>2.3</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00	<b>3.7</b>
3.1 昼光利用					<b>1.8</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境		1.0	0.60	5.0	0.50	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境		-	-	3.0	0.30	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策					<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境		<b>3.0</b>	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		<b>3.0</b>	0.25	-	-	-
<b>4 空気環境</b>					<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策					<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境		4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気					<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	3.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理					-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>					-	0.30	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>					<b>2.4</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ					<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	3.0	1.00	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理					<b>3.0</b>	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>					<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震					<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
1 耐震性	防災		⑮耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防災		⑮耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					<b>2.9</b>	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑯部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					<b>3.0</b>	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
3.1 空間のゆとり					-	-	<b>2.6</b>	0.50	-
1 階高のゆとり					-	-	3.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ					1.0	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					-	-	<b>3.0</b>	0.50	-
3.3 設備の更新性					<b>3.0</b>	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.0

ヴェレーナグラン横浜野毛山公園

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-	-			1.4
1		生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-			1.0
2		まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-			1.0
3		地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-			2.5
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-			-
3.2		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-			-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-			3.2
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-			3.6
1		建物外皮の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-			4.0
2		自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-			3.0
3		設備システムの高効率化		3.8	0.50	-	-			3.8
4		効率的運用		3.0	0.20	-	-			3.0
		集合住宅以外の評価		-	-	-	-			-
4.1		モニタリング		3.0	-	-	-			-
4.2		運用管理体制		-	-	-	-			-
		集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-			-
4.1		モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
4.2		運用管理体制		3.0	0.50	-	-			-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-			2.8
1		水資源保護		3.0	0.20	-	-			3.0
1.1		節水		3.0	0.40	-	-			-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-			-
1		雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-			-
2		雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-			-
2		非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-			2.8
2.1		材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-			-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-			-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-			-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-			-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-			-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-			-
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-			3.0
3.1		有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-			-
3.2		フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-			-
1		消火剤		-	-	-	-			-
2		発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-			-
3		冷媒		3.0	0.50	-	-			-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-			3.3
1		地球温暖化への配慮		3.7	0.33	-	-			3.7
2		地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-			2.9
2.1		大気汚染防止		3.0	0.25	-	-			-
2.2		温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-			-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-			-
1		雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
2		污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
3		交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
4		廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-			-
3		周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-			3.2
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			-
1		騒音		3.0	1.00	-	-			-
2		振動		-	-	-	-			-
3		悪臭		-	-	-	-			-
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-			-
1		風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
2		砂塵の抑制		1.0	-	-	-			-
3		日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3		光害の抑制		4.4	0.20	-	-			-
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-			-
2		屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-			-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-			-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-			-
1		化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-			-
2		適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-			-
3		結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-			-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-			-